

# KOCHI 2022 ROTARY 2023 CLUB SINCE 1937



IMAGINE  
ROTARY

2022-23年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3530回

2023年1月31日

2023年2月7日発行

### ● 会長挨拶

皆さま、こんにちは。今日は、日射しがちょっと暖かくて、しのぎやすいかなと思って出てきました。

今日は、少し嫌なことを申し上げます。皆さんがロータリークラブに入会するとき、「伝統と格式のある高知ロータリークラブに入れたことを、とても光榮に思います」といったご挨拶をします。「格式と伝統」って何だろうと考えたとき、氏素性とか生まれとか、育ってきた環境によってできた人柄というのはあると思いますが、このクラブの格式や伝統というのは、遡って85年前に高知クラブができたときから、先輩の皆さんが脈々と紡いで仕上げてきたものだと思うんです。お互いに相手に対する思いやりといったことがきちんとできて、ほのぼのと気持ちよくロータリークラブ生活を送りながらも、守るべきものは守っていく中から、格式というものができてきたのだと思うんです。

その守るべきものの1つに、出席があります。皆さんが入会するとき、まず一番大事なのは出席です。できる限りの出席はしてくださいと聞いたと思います。もちろん、仕事をおいてまで出席しろとは申しませんが、週に1度、火曜日と分かっている日です。できるだけ時間の都合を付けて、少しでも出席をすることを心がけていただきたいと思います。

今月はIMがあり、ロータリー創立記念夜間例会とホームカミングナイトを開催します。その出席を見ると、県外の方や、OBとして高知で暮らしていらっしゃる方が43人も出席して下さいます。それに対して、我がクラブの出席者も



40数人とほぼ同人数です。私が今、会長の立場だからとかいうことではなく、自分が何か主催して遠くの方をご招待申し上げて、それも全て実費でご出席くださるのに、お迎えする方がおいでになる方と同じ人数というのは、ある面、クラブとして恥ずかしいことだと、私は思います。そう思いませんか、皆さん。

ホームカミングナイトなんて、全然知らない人が来るんだから関係ないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、来てくださる方たちが、高知クラブを愛し、高知県を愛し、何かあれば高知県に戻ってくるよということでお見えになるんです。ですから、そういうことも踏まえて、欠席としている方も、もう一度、自分が高知クラブに入ったときの気持ちを思い出してください。首に縄を付けて入らされた方はいないと思います。このクラブに入ろうと決めたのであれば、このクラブがしようとする行事に対しては、できる限りの参加をしようという気持ちを持ってもらいたい、私は思っています。私はできる限り、そのように努めて27年間、クラブに席を置いてまいりました。

押し付けたくはないですが、ここのところ、通常例会への出席も90%を割っている日が多いですし、いろいろな会をしても、なかなか皆さんのご出席を上げない。私に何かいかなところがあるのかな。このおばさんじゃ魅力がないのかなとか、いろいろ思ったりもしますが、そういうことはさておいて、もう一度、これからあるいろいろな行事に、自分ができる限り出席をしようということを見直していただき、お互いに誘い合ってご参加いただければ嬉しいと思います。



### ■本日のプログラム [ 2月7日 ]

ゲストスピーチ

Japan Digital Design 株式会社

河合 祐子 氏(元日本銀行 高知支店長・元高知RC会員)

『「デジタル」な時代に考えること』

会 長	杉 本 芙美子
副 会 長	中 澤 陽 一
幹 事	佐 竹 新 市
副 幹 事	細 田 長 司
会報責任者	南 南 範 子



● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

◆ **委嘱状伝達**

- 関 裕司会員 (2023-2024年度 ロータリー財団監査委員長、危機管理委員、諮問委員)
- 山崎広一郎会員 (2023-2024年度 ロータリー財団委員会資金推進委員会小委員長)
- 筒井 善樹会員 (2023-2024年度 国際奉仕委員会短期交換委員会委員)



● **幹事報告**

- ・ RYLAセミナーが3月18日から3泊で余島で開催されます。申し込み締切りは2月8日。
- ・ 高松グリーンRCの事務局が移転します。ボードに掲示しています。
- ・ 2月14日のクラブ協議会は開催しません。
- ・ 抜萃のつづりをボックスに入れてあります。
- ・ 職場例会への参加締切は今日までです。



● **8クラブ会長幹事会報告**

- ・ 共同事務所の引っ越しが5月27日～29日に行われます。
- ・ 長期交換事業及び7月6日の8クラブ合同夜間例会のあり方について

● **ゲストスピーチ**

**ルワンダでの道直し体験**

高知工業高等学校 電気科3年 宮崎 惇仁 氏



僕は、高校3年生の夏休み、京都大学の木村 亮教授が行っている「道普請人」という活動に参加して、アフリカのルワンダへ行きました。

私は2004年11月13日、高知市で生まれました。その後、土佐市へ引っ越し、小学校は近所の蓮池小学校へ、中学校は地元の高岡中学校へ。2020年4月、高知工業高校電気科へ進学。部活動は中学校から続けている陸上部の長距離へ入部。趣味は音楽鑑賞でロックが好きです。特にマリリン・マンソンというバンドが好きです。毎朝、土佐市蓮池の自宅から高知工業まで、片道15キロを1時間かけて自転車通学しています。英会話は、リスニングには少し自信がありますが、話すことは得意ではなく、これまで海外に行ったことはありません。

2022年4月29日、高知工業高等学校創立110周年記念式典で、京都大学教授、NPO法人道普請人理事長、木村先生が「住民との道直しで世界の貧困を削減する」と題し

て記念講演をされ、土のうによる道直しのインターンシップ生を募集していると言われました。私はこの講演に感銘を受け、講演終了後にメールを送りました。

道普請人の主な活動は、発展途上国の道を直すことです。直す前の荒れた道は、雨季になると雨により、道が泥田状態になり車などは身動きが取れなくなります。ぬかるんだ道を人や車が通るとぐちゃぐちゃになり、乾くと大きなデコボコができるという悪循環で、村から舗装された幹線道路への道が無くなり、農作物を市場に運べず、換金できないため貧困へと繋がります。

道普請人のコンセプトは、機械を使わず、どのようにすれば住民が自らの力で道直しができるのか。自分たちの道は自分たちの手で直せるという意識を広げることです。発展途上国では学校に行けない人たちがたくさんいるので、専門的な知識や技術、機械などがなくても、自ら道を直す方法を探して、土のうに注目しました。土のうは上から叩くことによってエネルギーが加わり、土の強度が増します。土のうに使われる土はどこにでもある上、土のう袋も現地のプラスチックを造っている工場から調達できます。さらに、日本円で約500円という安価で、10年間保つことができます。道づくりへの参加者がこの方法を学んで、会社を起業することもあります。



道普請人が活動した国は2022年9月時点で、中央アメリカ、南アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋州で30カ国に上ります。特にアフリカでは19カ国。私が行ったルワンダは、東アフリカに位置する内陸国で、面積は四国の約1.5倍。千の丘の国と呼ばれる緑豊かな丘陵が連なっています。人口約1,300万人、標高1,600メートル、平均気温25度と涼しい気候です。1年に雨季と乾季が2回ずつ。平均降水量1,212ミリ。1962年から1994年まで、断続的な虐殺行為を含む紛争が続いてきました。

日本からルワンダまで、行きはJICAの人と一緒にでしたが帰りは1人。初めての海外で、空港ではとても緊張しました。ルワンダで最初に道直しのトレーニングに参加したのはブレラという、首都から車で約3時間、北西のコンゴとの国境に位置する地域です。トレーニングのある月曜から金曜は地元のホテルや教会で宿泊し、土日の休みは首都のキガリでホームステイをしました。

ブレラの次はムサンゼ。ブレラの隣で、キガリからは車で2時間。ムサンゼでは、最初のミーティングから参加し、関西大学からのインターンシップの方も一緒でしたので、とても安心感がありました。ここで直した道の全長200メートル、小学校や農園に続く道で、直すまでは雨が降ると小学校に行けなかったり、農作物を運べなくなっていました。

まず、溝を掘り、石を敷き詰めて平らにして、その上からコンクリートを流し込み水路を造ります。傷んだ道を全て掘り起こし、土のうを敷き詰めて上から土をかけ叩いて平らにします。その上にさらに土のうを置いて、また土をかけ、2段重ねにして道の強度を上げます。道だけではなく、橋を直したりもします。道直しの授業では、土のうがどうやって固まるか、道を直す必要性を教えます。みんなはとても真面目に授

業を受けています。

ルワンダでの食事は、お米や芋などの炭水化物が中心で量も多いのですが、想像よりもずっとおいしかったです。フライドポテトのようなチップスという揚げたジャガイモをよく食べます。休日は大学生の方とカフェなどにも行き、おしゃれなものも食べることができます。首都キガリは石畳が多くて美しい街並みです。赤道直下ですが標高が高く、涼しくて朝夕は寒いぐらいでした。生活はとても快適で、人は優しくて荷物を持ってくれたり、初対面なのに買い物に付き合ってくれたりします。お金は0.1円が1ルワンダフラン。道直しの日当は約5,000ルワンダフランでした。

キガリにある大きなマーケットには、日用品からお土産などたくさんの物が揃っています。しかし、客引きがすごく、値段もぼったくっていて、あり得ないぐらいの値段でお土産が売ってたりします。

帰りは1人で不安でしたが、意外にも適当な英語で通じるので自信につながりました。高知に着いて、見慣れた風景が目に入ったときはほっとしました。今回の体験では、木村先生、ルワンダ事務所の方々、道普請人の現地スタッフ、ホームステイ先の家族など、たくさんの人々のお世話になりました。土木作業は初めてで不慣れでしたが、周りの人々に優しく指導していただき、とても良い体験ができました。どこに行っても、私を助けてくれる親切な人々がいることを知りました。初めての海外でしたが、英語が十分に話せなくても何とかかなることも分かりました。

帰国後は濱田知事との対談、新聞の取材、高知県橋梁会での講演など生涯の思い出に残ることを次々と体験する機会に恵まれました。私にこのような機会を与えてくれた方々に感謝しています。



### ◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	2月 8日	観梅夜間例会(阪)	高知西RC	2月10日	ロータリー休日(三)
高知北RC	2月13日	鳥取北RC例会に振替(三)	高知RC	2月14日	職場例会(三)
高知ロイヤルRC	2月14日	立春夜間例会(旭)	高知南RC	2月16日	古希・還暦等夜間例会(阪)
高知中央RC	2月16日	休会(城)	高知北RC	2月20日	休会(三)
高知RC	2月21日→18日	ホームカミングナイト(例会)へ振替(三)	高知ロイヤルRC	2月21日	休会(旭)
高知西RC	2月24日	古希・還暦祝賀夜間例会(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### ニコニコ箱 【敬称略】

- 佐竹 新市 関会員、大変失礼いたしました。ガバナー副補佐まで務めていて、これはいけません。真摯な気持ちでニコニコします。
- 森本 征彦 宮崎くん、今日は卓話ありがとうございました。活躍に高知工業同窓生として嬉しく思います。この体験がこれからの人生に大きく寄与すると存じます。ロータリークラブの国際奉仕と同じく国際人として成長を願います。
- 右城 猛 母校の後輩のスピーチを聞くことができているニコニコしています。
- 藤田 洋子  
中島 和代  
南 範子  
古谷 純代  
宮地公美子  
天野三恵子  
中田 由季  
吉村 貴志  
寺田 文彦
- 杉本会長、今日は現役会員へ向けての直言をありがとうございました。改めて、高知ロータリークラブの会員としての存在意義を見つめ直すご意見、ご指導と受け止め、ホームカミングのみならず、これからのロータリー活動への出席をしたいと思います。



### 🌸 2月のお祝い

(会員誕生日)	竜口 淳也	寺本 武司	高村 禎二	小島 尚	
	関 裕司	安藤 一臣	田岡 弘久	各会員	
(配偶者誕生日)	関 敬子	森本美奈子	久松 智津	杉本 延一	
	紫藤 禎子	広末 多江	山中 寛子	山本 友代	各会員配偶者
(結婚記念日)	佐竹 新市	隅田 和稔	小笠原晃男	山崎広一郎	
	安光 保二	山中 謙治	西山 彰一	各会員	



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マイキャップ	出席率
1月31日	(-11)92	59	15	7	81%
1月17日	(-13)92	34	19	26	75%

### ● 累計額 [1月31日現在]

ニコニコ箱	513,500 円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	108,883 円	ポリオ募金	272,300 円
-------	-----------	------------------------------	-----------	-------	-----------

### ■ 次週のプログラム [2月14日]

職場例会 於:山崎技研 10:30~

◆2月18日(土)18:30~  
ホームカミングナイト(例会) 於:三翠園

◆2月21日(火) 休会

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/